

イスラエルで開催される「Leading for change Symposium」に参加 豊岡の取組みを報告 ～環境変化を導くためのシンポジウム。焦点は豊岡～

2月26日、27日、イスラエルのジフロン ヤコブ市 (Zikhron Yaakov) にあるラマツト・ハナディブ公園 (Ramat Hanadiv Park) で開催される「Leading for change Symposium」に、中貝市長が招かれ講演等を行う。世界各国から地域や活動に変化をもたらした人々を招いて行われるこの会議には、環境団体や農家、地域住民やイスラエルの地方都市の首長を含む行政関係者が参加する。

1 シンポジウムの概要

(1) 名称

Leading for change Symposium

(2) 日時

平成29年2月26日(日)～27日(月)

(3) 場所

イスラエル ラマツト・ハナディブ公園
Ramat Hanadiv Park (Israel Zikhron Yaakov)

(4) 主催

ザ パートナーシップ フォー リージョナル サステナ ビリティ
The Partnership for Regional Sustainability (Israel)

《参考》

ホームページ：www.hashutfut.org

(5) その他の主な講演者

ア フィオナ ミドルトン
Fiona Middleton (Scotland)
スコットランドのアイラ島でアザラシの保護に取り組む。

イ マーナ オルセン
Marna Olsen (Faroe Islands)
コミュニケーションコンサルタント。デンマーク フェロー諸島で、クジラとイルカの保護に取り組む。

2 スケジュール

日 時	内 容
2月23日(木)	関西空港発
2月24日(金)	イスラエル着
2月25日(土) AM	イスラエル国内の視察
19:00-	ラマット・ハナディブの紹介と主催者との懇親
2月26日(日) 9:30- 12:00	ラマット・ハナディブ庭園や公園の視察
15:00- 20:00	会議「環境リーダーの異なる見解」 参加者：環境団体、活動家、地域住民等 80～100 人 (1) ゲストのレクチャー (各 20 分) (2) 質疑応答 (3) 環境映画の試写
2月27日(月) 9:30- 12:00	環境教育の実践 小中学生を対象とした環境教育
13:30- 15:00	自治体フォーラム「地方自治体の発展のための方法としてのパートナーシップと協力」 参加者：首長、自治体職員、農家、その他のステークホルダー (1) 市長のレクチャー (30 分) (2) 意見交換 等
15:30- 16:30	ハナディブ溪谷、農家の視察
(夜)	イスラエル発
2月28日(火)	関西空港着

3 その他

このシンポジウムに関する現地コーディネーターは、本市に何度も来訪され、コウノトリ野生復帰に関する映像作品も作られたエコロジストのRan Levy-Yamamori氏。
ラン・レヴィー・ヤマモリ

※ 詳細は、別紙「ラン・レヴィー・ヤマモリ (Ran Levy-Yamamori)」参照

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL0796 - 21 - 9096

ラン・レヴィーヤマモリ (Ran Levy-Yamamori)

1958 年生まれ。イスラエル在住のエコロジスト兼絵本作家。豊岡市はヤマモリ氏とのコラボレーション企画として、2010 年、絵本「子どもたちがコウノトリを運んでくる」を作成。

●これまでの経緯

- (1) ラン・レヴィーヤマモリ氏（以下、ラン・レヴィ氏）は、ハゲワシの保全と環境教育の啓蒙に取り組むイスラエルのエコロジスト。イスラエルはシュバシコウ（ヨーロッパのコウノトリ）の飛来地でもあるため、かねてから豊岡のコウノトリの取組みにも関心があり、かつて豊岡のコウノトリ保護増殖センターを訪問されたこともあった。
- (2) 2008 年に来日した際、中貝市長が講演したシンポジウム「国境を越えて野鳥の保護を」で、放鳥したコウノトリとそれを支える子どもたちの取組みの詳細を知った。
- (3) その足で豊岡を訪問されたラン・レヴィ氏は、現地の人々の話と野外のコウノトリの姿にさらに深い感銘を受け、コウノトリの絶滅と復活、そして子どもたちの活動を絵本にしたいという思いを胸に帰国された。
- (4) 構想を経て 2009 年から創作活動に入り、絵と文を書き上げられた。この間、自身の講演活動（イスラエル、パリ、ロンドン等）においても豊岡の取組みを話されてきた。
- (5) 2010 年春には、イスラエル国内でヘブライ語バージョンの絵本を出版。日本の人々にも見てもらいたいという氏の思いと、コウノトリ野生復帰事業の普及啓発に活用したいという豊岡市の思いが一致し、日本語バージョンと英語バージョンを作成した。
(日本語バージョン 1,000 冊、英語バージョン 500 冊作成)
- (6) その後の数年間、氏はヨーロッパやアジアを中心とした様々な学会、会合、環境教育セミナーで、豊岡市とそのコウノトリ保護の取組みについてレクチャーされてきました。
- (7) 時間が経つにつれ、変化を起こすためのリーダーのメッセージ、子どもたちの役割、そして、市民が必要とするものを、社会問題と関わる環境問題に結びつけて実現する豊岡市について、世界中で語らなければならないと思うようになりました。
- (8) 2016 年 4 月、豊岡を再訪（約 2 週間滞在）し、撮影を行い、ドキュメンタリーを制作中。
今回のシンポジウムで放映される予定